

2017年度協定留学プログラム
派遣学生留学状況報告書

非公開希望	項目	内容
	所 属	国際社会科学部 国際社会科学科 2年（留学年次） 3年（帰国年次）
原則 公開	留学先	※大学名、学部、学科名を記入してください。 University of Tartu
原則 公開	留学期間	※実際の留学期間（留学先での授業期間）を記入してください。 2017年 09月 04日 ～ 2018年 07月 01日 出国日 2017年 08月 26日 最終帰国日 2018年 06月 29日

留学の状況について、各項目について書いてください（合計1,500字以上）。これから海外留学をする学生にとって貴重な情報となりますので、なるべく詳細な記述をお願いします。

1. 留学全般について

(1) 留学当初の所感（第1・2回目報告書記載）について、自己評価や、留学前からの意識の変化等

現地の言語はエストニア語かロシア語です。町の看板や聞こえてくる人々の会話も大体がエストニア語なため、エストニアに着き初めて町を歩いたときは、不安しかありませんでした。しかし、寮についてみると英語で友人と会話する、大学では英語での授業、そのような環境であったため、最初のような不安はすぐに消えました。自炊にも挑戦し、友人と自国の料理を共有することは私の中で一つの楽しみでした。現地の言語を学んでみるのもよかったです。学習院大学の単位には変換できませんが、カフェで注文する際などで使ってみると日々聞こえてくる会話に耳を傾けてみるのも楽しいです。知らない人と過ごすことは、簡単ではありませんが、経験してみることも結果的には良かったと思います。

(2) 留学前にもっと準備をしておけばよかったと感じること

エストニア語を少し勉強してみる

履修したい科目を決めておく

現地に着いてからだど、すでに履修申請は始まっているため、取りたい授業があっても、キャンセル待ちになることもあるため、行く前から学習院大学のどの授業に変換したいのかほぼ決めておくことを強くお勧めします。

2. 留学先大学について

(1) 留学先大学の授業や教授等についての印象や感想

Erasmus という欧州での留学制度を利用して来る留学生やエストニア語が分からない生徒と授業を受ける形です。そのため、授業でエストニア人と知り合うことは難しいです。英語が聞き取りにくい先生もいますが、あまり問題はありませんでした。

(2) 留学先大学のキャンパスや施設についての印象や感想

City centre と大学の教室が入り交ざっています。学習院大学のようにキャンパス感はありません。経済・経営の教室が raatuse の寮から遠く、冬は寒く地面も滑りやすいため大変でした。

(3) 留学先大学の留学生に対するサポート体制について

語学面：留学生を対象とした語学補習講座のようなものが授業として或いは授業外で開講されているのかどうか、また開講されている場合は、その時間数や内容、費用等について書いてください。

そのような講座はなかったと思います。

生活面：生活面のサポートや留学生向けのイベントについて書いてください。

バディがついてくれます。

ESN というグループがイベントを開催するため、興味のあるものがあれば参加しました。

(Welcome party/ Haloween party/ Farewell party , etc)

資金面：現地で得られる奨学金等の情報があれば書いてください。

申請していないため分かりません。

(4) 留学先大学周辺の治安について書いてください。

比較的良い。しかし夜は泥酔している人もいるため注意が必要です。

未だにアジア人に対する偏見などがあるため、注意が必要です。

(5) その他留学先大学についての印象や感想があれば書いてください。

語学を履修すると新しい友達を作りやすいです。

(6) 留学先での履修科目等

※本学での単位認定に関係なく、①に派遣先で履修した科目名をすべて記入してください。単位が認定された場合は、その科目の②に本学での科目名を記入してください。行は適宜追加してください。

※成績証明書を添付してください。

①留学先での履修科目名 (単位数)	②本学で単位認定された科目名 (単位数)
Financial Accounting (6 ECTS)	Financial Accounting (2)
Macroeconomics (6ECTS)	International Finance : Theory (2)

Managerial Accounting (6ECTS)	Cost Accounting (2)
Marketing (5ECTS)	マーケティングと消費者行動 (2)
Marketing Management (6ECTS)	Marketing Strategy (2)
Principles of Management (6ECTS)	Cross-Cultural Organization Behavior (2)
Spanish for Beginners 1 (6ECTS)	スペイン語 B (初級) 1 (2)
Accounting (5ECTS)	会計総論(法学部・経済学部) (4)
Asia and Pacific Business (6ECTS)	Modern Chinese Economy (2)
Banking (6ECTS)	経済政策 (4)
Chinese for Beginners 1 (6ECTS)	中国語 B (初級) 15 (2)
Economic Policy (6ECTS)	International Finance : Policy (2)
Estonian for Beginners (6ECTS)	該当科目がない為、申請していません
Human Resource Management and Organization Behaviour (6ECTS)	International Human Resource Management (2)

3. 宿舎について

(1) 種類

大学の寮

(2) 家賃

月額 (現地通貨) 約 €420 (1 人部屋のためこの家賃です。二人でシェアする場合は€210)、
(日本円) 約 54,600 円

(3) 食事

共同キッチンで自炊

(4) 大学までの交通手段、所要時間

徒歩 計 30 分

(5) 感想、良かった点・悪かった点

寮の中は、ベッド・机・椅子が 2 セットずつある部屋が 3 つあり、一人部屋にするか二人部屋にするかは選べます。最大 6 人でキッチン、トイレ、シャワー、冷蔵庫、冷凍庫を共有します。あまりきれいとは言い難いですが、毎週キッチンなどの共有スペースにはお掃除をしてくださる方がいらっしゃいます。また毎週ベッドのシーツ、カバー、枕カバーの交換も可能です。洗濯機は毎回 2 ユーロかかりますが、それは家賃を払う際にまとめて請求されます。乾燥機もあります。寮の部屋に行ってみないと、どのキッチン用品があるかはわかりません。私の場合は、フライパン、鍋、ポット、オーブン、スプーンフォーク、お皿がありました。きれいじゃないものもある為、自分で現地でそろえたものもあります。寮の部屋同士でご飯を共有することもあるため、多文化と触れ合うこともできました。

4. 費用について

(1) 学 費

免除 (留学先)

(2) 渡航方法と金額

飛行機 成田→ヘルシンキ→タリン, (日本円) 約 110,000 円(往復) 2,2120 円(航空保険料・燃油サーチャージ等) 2,850 円(出入国税等) 2,610 円(成田空港施設使用料) 7,560 円 (手配旅行に係る取扱料金)

バス タリン→タルトゥ €3~9

(3) 生活費

(現地通貨) 月額 約 寮費 €420(1 人部屋)、洗濯 €10 (一回 €2)、食費等 €500 前後
合計€930、(日本円) 約 120,900 円

(4) 費用の持参方法

クレジットカード (visa/master) ・現金

⇒その方法についての感想、良かった点・悪かった点

カードを使える場所がほとんどのため、現金を持ち歩く必要は特にありませんが、寮の部屋で共有して使うもの(ハンドソープ・食器用洗剤・トイレトペーパー代)をあとで計算する際に現金が必要になるので、ある程度現金を持っておくといと思います。
現地で銀行口座は開きませんでした。

(5) 「学習院大学海外留学奨学金」を受給した場合、その主な支出内容と金額の内訳

受給申請していません。

5. 保険について

(1) 保険会社名

AIU 損保

(2) 保険料

263,880 円 (11 か月)

(3) 加入した保険の種類、内容

「インフィニティプラン TWP」

傷害死亡 5,000 万円/障害後遺障害 150 万円～ (後遺障害の程度に応じて) 5,000 万円

治療・救援費用 無制限/ 歯科治療費用 10 万円/ 疾病死亡 3,000 万円

個人賠償責任(長期用) 1 億円/ 生活用動産(長期用) 100 万円

航空機寄託手荷物遅延 10 万円/ 航空機遅延費用 2 万円

(4) 感想、良かった点・悪かった点

とくに利用する場面はありませんでした。

6. 荷物について

(1) 荷物の送付方法

手荷物 スーツケース と EMS

(2) 持って行って良かったと思う物

ビーチサンダル、自分用の箸やスプーンとフォーク

あぶらとり紙やポチ袋 (ちょっとしたギフト用)

化粧品や医薬品・パソコンのバッテリー (EMS で送るには制限がある為)

(3) 持って行く必要が無かったと思う物

トイレを掃除するもの

(4) 持って行けば良かったと思う物

とくにありません。

7. 平日および週末の平均的な過ごし方

(1) 平日

授業にいて、帰宅後は夕食を作り、課題を終わらせる

(2) 週末

ジムに行き、課題を終わらせ、友人とお出かけ

8. 後輩へのアドバイス等

10月から雪が降り始め2月をピークに気温が下がっていきます。引きこもりになり過ぎないように、ストレスをどのように緩和していくのか工夫することが大事だと思います。

大学のオリエンテーションでSIMカードが無料で配布されるため、出発までにSIMフリーにする手続きをしておく方がいいです。

9. その他、雑感や要望など書きたいことがある場合は自由に書いてください。

エストニアは6月の後半に白夜を見ることができます。寒くて、気分が暗くなることもあるかもしれませんが、北欧でしか味わえないことを見つけて、友人と過ごす時間は貴重です。

日々経験することを日記に書いておくと、いい思い出にもなり、反省するときや振り返る時に使えるためおすすめです。